

西川アゴラ開所

岡山大の学外拠点

市民と協働まちづくり



「西川アゴラ」のプレートを掲げる荒木センター長（左）と横山副市長

催時に開所する。同大は岡山市と「まちづくりに関する地域連携協定」を結んでおり、ここを拠点として人材育成や情報収集・発信でも協力する。（伊丹友香）

📖 本誌HPに動画

岡山市中心部の西川緑道公園一帯のまちづくりに、市民と学生らが協働して取り組む岡山大学の学外拠点「西川アゴラ」が20日、同市北区田町、西川沿いの民間ビルにオープンした。先進地視察の報告会やワークショップの

場として活用、まちの魅力をアピールを目指す。同所で開所式があり、岡山大、岡山市の関係者ら約40人が出席。運営する同大地域総合研究センター（通称・アゴラ）の荒木勝センター長が「拠点に集い、議論を深め、魅力的なまちづくりにつなげてほしい」とあいさつ。同市の横山弘忠副市長とともに、名称を記したプレートを玄関に掲げた。西川アゴラはビル2階の一室（広さ約90平方メートル）を賃借。原則、月々金曜の午後と土日曜・祝日のイベント開